

# 令和6年度学校運営協議会委員研修会

日時：令和6年9月8日（日）13:30～15:30

場所：有田市文化福祉センター

テーマ：「できっこないを やらなくちゃ」

参加者：163名

（参集：107名 オンライン：56名）



## 【コミュニティ・スクールのさらなる理解に向けて】

国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官 志々田 まなみ 氏

### 👉 研修内容をファシリテーショングラフィックで！

※ファシリテーショングラフィックとは、参加者の認識を一致させるために、発言を記録・図式化したものことです。

話し合いの内容を、ホワイトボードや模造紙、パソコン画面などに文字や図形を使って分かりやすく表現して、「議論が見える化」する技法です。

R6.9.8(日) 学校運営協議会委員研修会 @有田市文化福祉センター

**起** CS理解 ◎  
 ×「どんな活動しているか」  
 「どう進めているか」  
 プロト一番大切!!

**承** CSは地域学校協働活動で  
 学校運営する「仕組み」  
 学校と地域 それぞれ抱える課題  
 育みたい子ども像 役割分担  
 共有・相互理解 “効果性 効率性”  
 活動を選定

**協働** (めんどくさい) 人口(減) 子育て者 交える大人 学校運営協働会  
 準備回数 3回+2回  
 ・一歩ふみこんだ話

**結** コミュニティ・スクールのさらなる理解  
 国政研 向け  
 志々田まなみ氏

**双方向性の確保**  
 1. 学校の依頼に地域が応える 関係性  
 2. 地域が意見要望伝え 学校応える ”  
 3. 教員が教え 地域はお手伝い ”  
 4. 学校と子どもを支える大人の出会いの場 つながりの場 仲間

ワークショップ  
 ・ふせん使ってね!  
 ・何かを決めるために  
 ・多様な人 ない! いてね!

まとめ  
 学校運営協働会  
 報告・相談 かけてなく  
 学校・地域  
 相互理解 学び  
 相談 協議 の場!!

※ 現場で講演を聞きながら記録したものです。

